



今年も全国大会の前日に開催された「2022 青年話創会熊本大会」に参加しました。

全国の単位会に青年組織が続々と設立され31部会となり、話創会も以前より盛大なものになり、今後は青年組織を設立ではなく活動、意見交換、交流をメインにしていくことを確認しました。

主催者の方々の挨拶の後に活動報告でしたが、今年はコロナ禍による影響で北海道・東北、東海・北陸、近畿、中四国、九州・沖縄、関東甲信越と各ブロックでの活動ができず、webでの会議が多かった模様です。

早く実際の活動ができることを祈るばかりです。

続いてディスカッションがあり、各テーブルにて議論を交わしました。

- ・若者の不足
 - ・メリットを感じるためにはどうするか。(実務、紹介)
 - ・目的の明確さがあるか、共通認識があるか。
 - ・次世代の発掘や活動予算は単位会で状況が違う。
- 右記を解消するためには
- ・一社一名ではなく複数人が参加できるようにする。
 - ・活動する(継続する)努力
 - ・メリットはお金の話、儲け方
 - ・大義名分的なものも必要
 - ・足並みを揃える。

2022 青年話創会 熊本大会

松戸支部 青山 貴仁



以上、私のいたテーブルの参加者から意見を頂きました。各テーブルごとに意見をまとめたものを発表することになっており、私のいたテーブルは私が発表させて頂くことになり、連合会会長、副会長とお歴々の方々がいらっしゃる中で「社会的義務も大事だが、この会は金儲けの話をしてないからダメなんだ。」と言い放ちました。空気を読まない私の面目躍如といったところでしょうか。

懇親会では私のこの発言に対して賛同して下さる青年が多かったことが大変嬉しく思いました。



今後も事務所協会や業界全体が発展していくことに尽力していきますので、皆様宜しくお願い致します。

